



飯館村役場で、みわ由美と加藤英雄県議

その名も飯館
わがふるさとよ

一、山美わしく
水清らかな
その名も飯館
わかふるさとよ
スビりの林に
小鳥は歌い
うらら春陽に
さわらひ萌える

あ、われら
今こそ手と手
固くつなぎ
村を興さん村を興さん

あ、われら
夢大らかに
ともに励みて

二、土
その名も飯館
わかふるさとよ
実りの稲田に
陽は照りはえて
続く阿武隈
山を歌う

夢大らかに
作 加藤英雄

5/14福島 みわ由美レポート

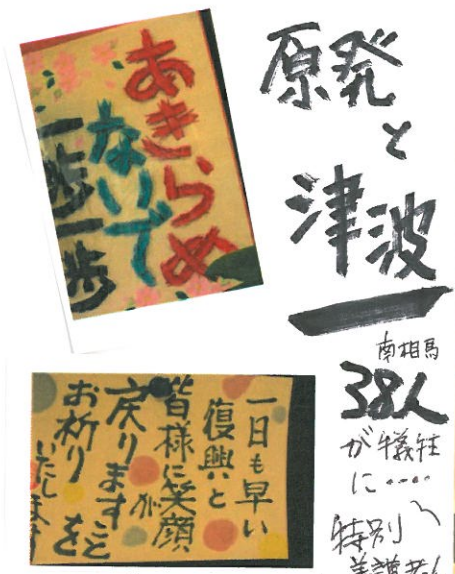
「原発さえなければ・・・」

計画的避難区域となったままの飯館村に入り、緊張が走った。私の車中も2マイクロを超えたまま。家々のカーテンは閉じられ、牛舎も静まりかえり、人の姿は無い。白い防護服をきた国職員が一部の水田で除せんを実施していたが、民間業者は無防備で作業。森も山も田畑も泣いている。

本場「飯館牛」の看板が、痛々しい。「原発さえなければ・・・」呻く飯館村。



? 私の測定器は1.41なのに行政のは、0.69 マイクロシーベルト どちらが本当?



南相馬市 「生命守りたい! 隠さないことが自治体の使命」

子どもの放射線内部被ばく健診や、妊婦支援などについて、私は、南相馬市の取り組みを、学んできました。市は、「全国からの支援があつて、かろうじて・・・手さぐりの中で取り組んでいる。医療スタッフや住宅不足も深刻。汚染土壌などの仮置き場もなく、除染もまだまだ」「安全ですから戻って下さいとは言えない状況だが、住民の命は守りたい。隠さないことが、自治体の使命」と、キッパリ答えておられました。私は、国と東京電力の対応の遅さをつくづく実感し、何としても国政を変えたい、と総選挙への決意を新たにしました。



南相馬市役所
頑張っぺあくしま
三竹志朗 西野地良三



南相馬党ボラテアセンタ
津波被害